

研究協力をお願い

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

単焦点眼内レンズにおける瞳孔径および角膜屈折力の焦点深度拡張効果の検討			
1. 研究の対象および研究対象期間 2010年1月1日から2029年12月31日に昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院眼科で白内障にて多焦点眼内レンズを挿入した患者さん			
2. 研究目的・方法 小瞳孔や角膜屈折力が高い患者さんが、白内障で当院にて単焦点眼内レンズを挿入した症例を対象に、術後視力および術前検査因子を後ろ向きに評価します。本研究により、瞳孔径や角膜屈折力の要因が与える術後の視機能の効果を明らかにし、それらの疾患の患者さんの単焦点眼内レンズの度数選択の材料とすることを目的とします。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、性別、既存の眼疾患 ＜術前の評価項目＞ 患者さんが希望する焦点距離・残余自覚乱視 ＜術前・術後の評価項目＞ 裸眼および矯正視力（遠方・近方・中間）、眼圧、瞳孔径、動的瞳孔径、瞳孔面積、屈折度、コントラスト感度、角膜多焦点性、等価球面度数、角膜内皮細胞数、 患者さんの自覚症状及び満足度、視能訓練士の評価、高次収差 ＜術後の評価項目＞ 使用した眼内レンズの種類、有害事象の有無、術中・術後合併症の有無			
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません			
6. 研究組織			
研究責任者	研究機関名	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院眼科	氏名 早田光孝

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院眼科

氏名：早田光孝

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号： 045-978-6100